

生駒南第二小学校のあり方に関する今後の取組(案)

小規模校を存続させる場合の具体的な方策として

(教育委員会の示す基本的な考え方 P.11取組例による)

1. 小規模校を最大限生かした教育活動の徹底

(1) ICT を活用した「令和の日本型学校教育」の実践

●協働的な学び

他校との遠隔授業の活用

海外の学校との交流学习

●個別最適な学び

不登校児童に対する学習指導

病気療養児への家庭学習

臨時休業時におけるオンライン学習

(2) イエナプラン

(3) エドテック

2. 適度な競い合いの気持ちや向上心を育むための意図的な環境づくり

(1) オンラインによる他校との合同学習、発表会の共同開催

(2) 学年の縦割り学習活動

3. 教育活動への地域人材の効果的な参画を促進し、社会性を育む機会の確保

(1) 地域住民による地域参加型学校行事の開催(運動会・音楽発表会等)

4. 他の公共施設との複合化による教育活動・地域活動

(1) 教育相談室・通級(ことばの教室)の開設

(2) 不登校児童対応教室の開設

(3) 学校図書館を拡充し地域への開放

(4) 学童保育所を校舎内に設置

(5) 空き教室を活用した小規模保育所保育事業

(6) (仮称)コミュニティ・ルーム(地域の活動拠点)の開設

(7) フリースクールの開設